

じもとグループの経営戦略

 じもとホールディングス

経営戦略



〈宮城・山形の地域経済環境〉

- 東日本大震災により、地域事業者が依然として厳しい経営環境にあるなか、今後本格化する復興需要を契機とした地域経済の再生が期待されている。
- 事業者数及び人口の減少に伴い地域経済が縮小するなか、両県は産業・文化・生活・アクセス・危機対応等、あらゆる面で密接な関係にあり、今後も同一経済圏としての役割が期待されている。



じもとグループが取り組む『じもとを元気にする4つの戦略』

① じもと復興戦略

② じもと経済活性化戦略

③ 商品・サービス向上戦略

④ 経営資源の効率的配分戦略

① じもと復興戦略



被災地の金融グループとして両行の力を結集し、大震災からの復興応援に全力で取り組みます。

資金供給機能の強化

- ・震災復興融資枠の検討
- ・両行協調による大口資金への対応

外部機関との連携強化

- ・宮城産業復興機構・東日本大震災事業者再生支援機構との連携

復興応援イベントの開催

- ・宮城の特産品等を山形に紹介
- ・山形での復興市の開催等

<被災地の現状・課題>

二重ローン問題
農業・漁業の甚大な被害
医療・介護・福祉施設の不足
観光客の減少、販売先の被災
材料調達難など

事業再建サポートの強化

- ・被災地で抱えている様々な問題を隣県である山形からサポート（人手不足への対応、販売先・仕入先の紹介等）
- ・両行のノウハウ融合及び連携による事業再生支援の強化

生活再建サポートの強化

- ・生活再建応援住宅ローンの販売
- ・既往ローンのおまとめ提案
- ・住宅ローンアドバイザーによる相談業務強化

② じもとと経済活性化戦略



両行の情報をつなぐことで、商流の形成に取り組んでまいります。また、両行のノウハウを融合・活用することで、産業再生と活性化に貢献してまいります。



③ 商品・サービス向上戦略



じもとに対する想いを形にし、お客様に喜ばれる特色ある共同商品の開発やサービスの向上を図ってまいります。

商品の充実

隣接する2つの県で日本海と太平洋を結ぶ全国初の金融グループである特色を活かした預金・ローン等の共同商品を積極的に開発してまいります。

ネット・チャネルの強化

コールセンター機能や、非対面・非来店型の受付チャネルを強化し、お客様の利便性を更に高めてまいります。

非対面受付

情報提供

非対面受付

情報提供

イベント・セミナーの充実

お客様ごとのニーズやライフステージに応じた各種セミナー・イベントを共同で企画・開催してまいります。

各種手数料の優遇

両行間の各種手数料を優遇するなど、両行のお客様に共通する業務のサービス向上に取り組めます。

日本海

太平洋

④ 経営資源の効率的配分戦略



本部機能の集約や事務機能の共同化等により、徹底した経営効率化に取り組み、創出した経営資源を効果的に配分することで、永続的にじもとを元気にする力を発揮してまいります。

